








恩原1遺跡・恩原2遺跡出土石器 1, 049点



指定区分	県指定重要文化財(考古資料)
読みかた	おんばら1いせき・おんばら2いせきしゅつどせつき
所在地	岡山市北区津島中 岡山大学
指定年月日	令和4年3月11日
解説	旧石器時代の遺跡(今から約33,000年前～16,000年前)から出土したナイフ形石器・細石刃(さいせきじん)等の石器類。中でも旧石器時代末期の細石刃石器群は、東北日本で栄えた「湧別(ゆうべつ)技法」によるもので、これが遠く中国地方まで伝わったことを示す点で注目される。当時の生活様式のみならず、遠隔地との文化的交流あるいは人の長距離移動を復元できる資料として貴重である。
アクセス方法	電車: JR津山線「法界院駅」下車 徒歩10分 バス: 岡山駅より岡電バス「岡山大学・妙善寺」行き「岡大西門」下車
公開状況	一部展示室で公開(要予約) TEL: 086-252-1111(岡山大学代表)
設備	駐車場   障害者用駐車場   トイレ  障害者用トイレ  
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要文化財(考古資料)
ぶんかざいめい (文化財名)	恩原1遺跡・恩原2遺跡出土石器 1, 04 9点
よみかた	おんばら1いせき・おんばら2いせきしゅつ どせっき
しょざいち (所在地)	岡山市北区津島中 岡山大学
していつひ (指定した日)	令和4年3月11日
せつめい	今から約33,000年前～16,000年前の石器 (せっき・石で作った道具)で、狩りに使う 槍(やり)の先端に付けたナイフ形石器な どがあります。これらの石器からは、当時 の人々がどのような道具を使って、どのよ うに生活していたのかがわかります。当時 は今よりも寒い氷河時代(ひょうがじだい) で、ナウマンゾウやオオツノジカなど大型 の動物が住んでおり、石器を使ってこれを 捕らえ、食糧にしていました。